学校番号	T1202

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	人物でたどる歴史	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作教材・プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古代から近代にかけての日本の歴史上の人物について学習する。
・視覚的な史料を多く活用し、歴史上の人物について生徒が理解しやすいよう努める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・歴史上の人物の行動が社会にどのような影響を与えたかについての理解を深めるとともに、史料から歴史上の人物に関する情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・歴史上の人物が社会にどのような影響を与えたか、史料から情報を調べてまとめ、その人物が社会にどのような影響を与えたかを多面的・多角的に考察し、表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
・歴史上の人物が社会にどのような影響を与えたかについて、主体的に学習に取り組むとともに歴史への関心を高め、自ら学ぶ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史上の人物の行動が社会にどのような影響を与えたかを、その行動を通して理解するとともに、資料から歴史上の人物に関する情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	歴史上の人物が社会にどのような影響を与えたかを、時代背景や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、歴史上の人物の行動について思考・判断したことを説明したり、表現したりする能力を培う。	歴史上の人物が社会にどのような影響を与えたかについて、主体的に学習に取り組む態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間(前期中間)	古代の人物	・天皇と大和政権 ・天智天皇と天武天皇 ・摂関政治と院政 ・平氏政権	a:大和政権や律令国家の成立に向けて活躍した人物に関する知識を身に付けている。 b:東アジア世界の変動のなかで、政治改革が進んだ点を考察し、自らの考えを表現している。 c:摂関政治や平氏政権が登場した歴史的背景に関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 振り返りシート
	中世の人物	・源頼朝と鎌倉幕府 ・後醍醐天皇と建武の新政 ・足利尊氏と室町幕府	a:幕府の将軍の政治や有力な御家人に関する知識を身に付けている。 b:鎌倉幕府の支配や建武の新政が崩壊したことを考察し、室町幕府の成立について、自らの言葉で表現している。 c:武家政権の成立と成長に関する課題を意欲的に学習しようとしている。			
前期期末(後期期末)	近世の人物	・戦国大名 ・織豊政権 ・徳川家康と江戸幕府	a:織田信長と豊臣秀吉の全国統一と江戸幕府の幕藩体制に関する知識を身に付けている。 b:検地や刀狩りの目的と成果、幕府の大名統制について考察し、自らの考えを表現している。 c:織豊政権や江戸幕府の政策に関心をもち、それぞれの支配体制がもたらした社会的変革に関する課題について意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 振り返りシート
	近代の人物	・明治維新と藩閥政治 ・立憲政治の成立	a:明治維新や新政府で活躍した人物や政策に関する知識を身に付けている。 b:新政府の政策の意義について考察し、自らの考えを表現している。 c:立憲政治の成立にいたる過程と憲法の特色について、意欲的に学習しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度